

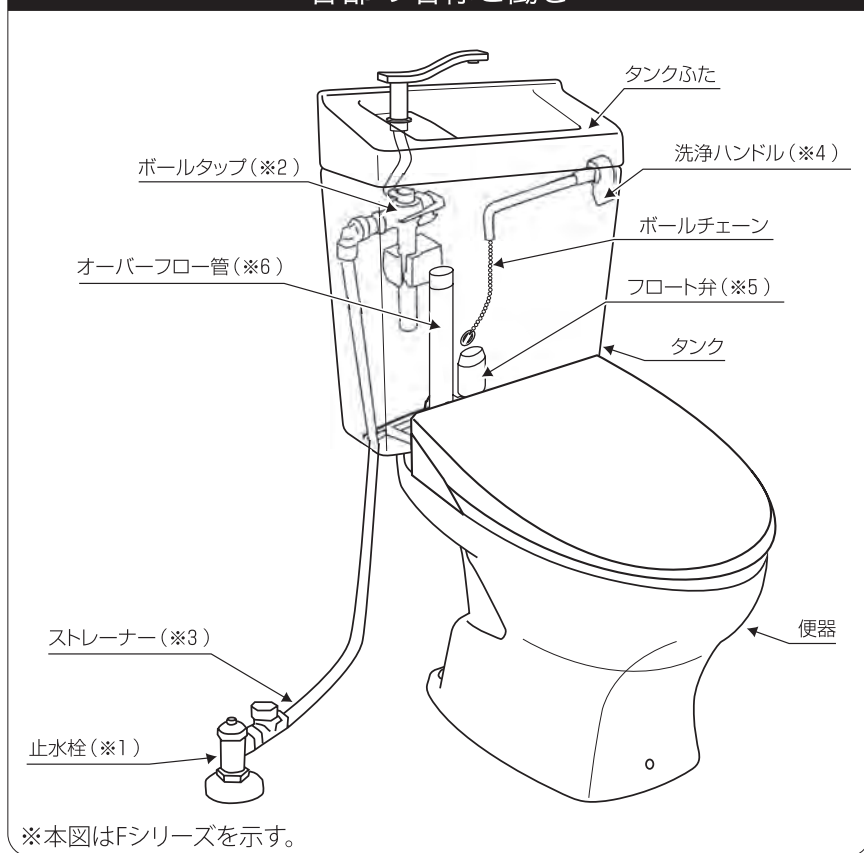
ティモニ

Fシリーズ

Bシリーズ

Sシリーズ

各部の名称と働き



※本図はFシリーズを示す。

<p>止水栓 (※1) 水道水はここを通過してボールタップに行きます。保守・点検などで水を止めたり、給水量の調整を行うための弁です。</p>	<p>ボールタップ (※2) 水はここからタンクに入り、一定量たまると浮玉の浮力により自動的に水を止め、洗淨ハンドル操作と同時に自動的に給水を始めます。</p>	<p>ストレーナー (※3) ボールタップの中に配管内のゴミや砂が入ると、故障の原因になります。これらのゴミや砂などがボールタップに入るのを防ぎます。</p>
<p>洗淨ハンドル (※4) フロート弁を持ち上げて、タンク内の水を便器内に流す役目をします。</p>	<p>フロート弁 (※5) 洗淨ハンドルを操作することによりタンク内の水を便器内に流し、一定量流すと自動的に止水します。</p>	<p>オーバーフロー管 (※6) 万一、不具合が生じて給水が止まらなくなったとき、タンクから溢れる前に、ここから便器の方へ水を流します。</p>

もくじ

はじめに

各部の名称と働き …… 表紙
安全上のご注意 …… 1

使いかた

使いかた …… 3

お手入れ・こんなときは

お手入れのしかた …… 3
長期間使用しない場合 …… 4
凍結防止について …… 4
調整方法 …… 5
修理を依頼される前に …… 5
アフターサービス …… 6
保証書 …… 裏表紙

このたびは当社ティモニシリーズをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

◆ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

特に、「安全上のご注意」については、必ずご使用前にお読みいただき、安全にお使いください。

◆この取扱説明書は、いつでもご覧になれる場所に大切に保管してください。

◆この取扱説明書は、裏表紙が保証書になっています。





◆温水洗淨便座については、温水洗淨便座の取扱説明書をお読みください。









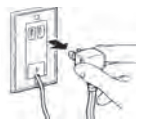
安全上のご注意





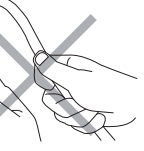




ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

表示と意味

-  **警告** …… 死亡や重傷を負う可能性がある内容です。
-  **注意** …… 傷害や物的損害が発生する可能性がある内容です。
-  …… してはいけない禁止の内容です。
-  …… 必ず実行していただく強制の内容です。

 警告			
 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしない。 ※故障したり、思わぬケガをする恐れがあります。		 便座などの樹脂部分にストーブやヒーターなど火気類を近づけない。 ※火災や故障、変色の原因になります。	
 タバコや灰皿などの火気類を近づけない。 ※火災や故障、変色の原因になります。		 電源は交流100V以外では使用しない。 ※交流200Vや直流電源を使用すると、火災や故障の原因になります。	
 電源コードを折り曲げたり傷つけたり破損するようなことをしない。 ※火災や感電の原因になります。		 電源プラグや電気製品に水をかけたり、酸性やアルカリ性洗剤、シンナーなどを使用しない。 ※破損や火災・感電の原因になります。	
 雷が発生しているときは、電源プラグに触れない。 ※感電の原因になります。		 ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。 ※感電の原因になります。	
 コンセントにガタつきが無いことを確認の上、電源プラグは根元までしっかり差し込む。 ※コンセントのガタつきは、火災や感電の原因になります。		 電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部を持って抜く。 ※コードが破損し、火災や感電の原因になります。	
 お手入れの際は、電源プラグを抜いてから作業する。 ※感電の原因になります。		 電源プラグに付いた埃は定期的に取り除く。 ※火災や感電の原因になります。	

 注意			
 便器に熱湯をかけない。 ※便器が割れる原因になります。		 給水フレキホースを無理に折り曲げたり、傷を付けたりしない。 ※漏水や作動不良の原因になります。	
 便ふたや便座の上に乗ったり、重いものを乗せたりしない。 ※破損してケガをする恐れがあります。		 便器に強い力や衝撃を与えない。 ※破損してケガや漏水の原因になります。	

⚠ 注意

<p>⊘ 便器に汚物が付着したまま放置しない。 ※乾燥して取れにくくなる場合があります。 ※洗濯用ブラシで汚れを落とし洗い流してください。</p> 	<p>⊘ 便器には、汚物・トイレトペーパー以外のものは流さない。 ※便器が詰まり、汚水があふれて家財を汚す原因になります。</p> 
<p>⊘ 便器にヒビが入ったり、割れた場合は、絶対に破損部を触らない。 ※ケガをする恐れがあります。</p> 	<p>⊘ タンクが満水になるまで、水を流さない。 ※便器の詰りの原因になります。</p>
<p>❗ 便器が詰まった場合は、市販のラバーカップなどを使用して詰りを除去する。 ※詰まったまま水を流すと、汚水があふれて家財を汚す原因になります。</p> 	<p>❗ 便器や給水管・止水栓の表面に結露した時は乾いた布で拭きとる。 ※床にシミを作ったり、腐らせる恐れがあります。</p> 
<p>❗ ボールペン・くし・歯ブラシ・携帯電話などを便器に落とした場合は必ず拾い出す。 ※便器が詰まり、汚水があふれて家財を汚す原因になります。</p> 	<p>❗ 直射日光を当てない。 ※変色の原因になります。</p> 
<p>⊘ 芳香洗剤や薬品、瓶などは、タンクに入れない。 ※水量が減少し、便器や排水管の詰まりなどになり、汚水があふれて家財などをぬらす財産損害発生の恐れがあります。また、内部器具を傷めたり内部部品に当たり、止水、吐水不良になる恐れがあります。</p> 	<p>⊘ 手洗器で手を洗うときは、石鹸などを使用しない。 ※故障の原因になります。</p> 
<p>⊘ 手洗い鉢の中には、物を置かない。 ※手洗い鉢から水があふれたり、飛散して家財などをぬらす財産損害発生の恐れがあります。また、タンク内に物が落ちて便器が洗浄不良になる恐れがあります。</p> 	<p>⊘ 手洗器を外したまま使用しない。 ※タンクから水が噴出し、家財を濡らす原因となります。</p> 
<p>⊘ 芳香洗剤などを使用しない。 ※内部器具を傷め、止水不良などの不具合や水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の恐れがあります。</p> 	<p>❗ 凍結の恐れがある場合は、必ず凍結防止操作を行う。 ※凍結破損により室内浸水の原因になります。</p>
<p>⊘ 浴室など湿気の多い場所には設置しない。 ※感電・火災の原因になります。</p>	<p>⊘ 一度に大量のトイレトペーパーを便器に流さない。 ※便器が詰まり、汚水があふれて家財などをぬらす財産損害発生の恐れがあります。</p>
<p>⊘ 定期的に配管の周りを見て水漏れがないか確認する。 ※部品の劣化等による水漏れが発見できず、家財などをぬらす財産損害発生の恐れがあります。</p>	<p>⊘ お手入れに酸性・アルカリ性・塩素系洗剤、ベンジン、シンナー等の溶剤は使用しない。 ※故障・破損の原因になります。</p>

使いかた

■便器内の洗浄方法

- 用便後、汚物を流す場合には洗浄ハンドルを矢印の方向に回してください。

「大」通常洗浄時にお使いください。

「小」小用の場合にお使いになると、洗浄水が少なくてすみます。

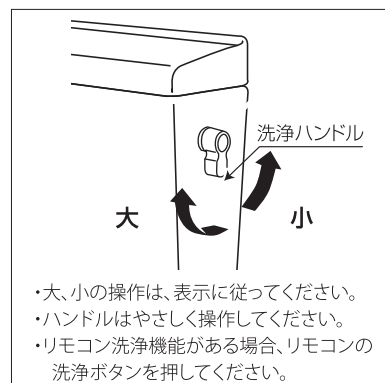
- トイレットペーパーは便器内の水たまり面へ投入してください。

■断水したときの便器鉢内の洗浄のしかた

バケツ1杯(5~6L)の水を、水とびに注意しながら一気に流し込んで汚物を排出してください。最後に、便器内の水位が通常の高さになるように3~4Lの水を注いでください。

※うまく汚物が流れないときは流し込みをより早く(短時間に一気に)して、再度行ってください。

※小洗浄も同じように流してください。



注意

- 女性の小用の場合、「小」で使用されますと紙が流れない場合がありますので、「大」の方でご覧ください。
- 前の洗浄から間を置かず次にを行うと、洗浄ができない場合があります。このようなときは少し間をおき、タンク内に水が十分たまってから洗浄ハンドルを操作してください。※手洗付きの場合で、吐水口から水が出ている時は、洗浄を避けてください。
- 汚物は個人差・体調によって異なります。汚物の量や状態によっては、便器水たまり面周辺、水中の陶器表面にも汚物が付着し、水のみでは洗い流せない場合があります。
- 汚物やトイレットペーパーの量に応じ大洗浄小洗浄を使い分けてください。汚物の大きさや量、比重の違い、トイレットペーパーの量によっては2度以上の洗浄が必要となる場合があります。
- 一度に大量のトイレットペーパーを流さないでください。便器・排水管のつまりの原因となります。

お手入れのしかた

- 器具はお手入れ次第で、いつまでも美しさを保ち、長持ちさせることができます。

日頃からこまめにお手入れしてください。

なお、クレンザーやみがき粉などの研磨剤の入った洗剤は、表面を傷つけますので、使用しないでください。

■便器鉢内(陶器)のお手入れ

- 便器の洗浄面は水で洗われますが、便の状態によっては付着して落ちにくいことがあります。そのまま放置しておく、乾燥して取れにくくなりますので、汚れたらすぐに洗い流してください。汚れがひどい場合は、掃除用ブラシやスポンジに中性洗剤を含ませ、水またはぬるま湯で洗ってください。

- トイレ洗剤で便器を掃除する際は、洗剤をキレイに洗い流し、便座・便ふたは開けたままにしてください。

■便座・便ふたなど(樹脂部)のお手入れ

- 水でぬらしたやわらかい布をよくしぼって拭いてください。

汚れがひどい場合は、中性洗剤を100倍程度に薄め、やわらかい布に含ませ、拭き洗います。この後は、必ず水でぬらしたやわらかい布をよくしぼって拭いてください。

■止水栓(金属メッキ部)のお手入れ

- やわらかい布でカラ拭きしてください。時々ミシン油やカーワックスなどを含ませた布でみがいてください。



注意

- お手入れの際は、電源プラグを抜いてから作業してください。※感電の原因になります。
- 熱湯は使用しないでください。
- ガラス質を侵すフッ素化合物の入った洗剤は使用しないでください。
- 表面を傷つける恐れのあるクレンザー、みがき粉、金属またはナイロンたわし、ブラシ等は使用しないでください。
- 酸性、アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン、シンナー等の溶剤は使用しないでください。

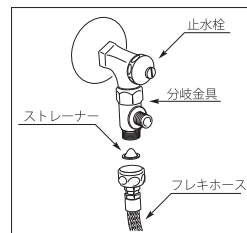
■ストレーナーのお手入れ

- 以下の要領でストレーナーのゴミを取り除いてください。

- (1) 止水栓をマイナスドライバーで右に回し、給水を止めます。
- (2) フレキホースの袋ナットをスパナなどでゆるめ、取り外します。このとき、布きれなどで金具を保護してください。

※止水栓内には水が溜まっていますので容器で水を受けてください。

- (3) 止水栓の入り口に組み込まれているストレーナーを取り外して、掃除します。
- (4) ストレーナーの掃除後、元のように取り付けてフレキホースの袋ナットを締め付けます。
- (5) 止水栓を開き漏水確認をしてください。



■結露について

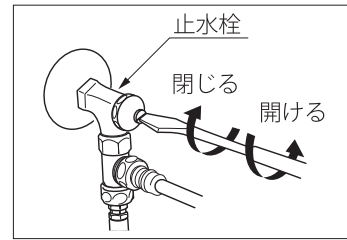
- 温度と湿度の条件により、便器や止水栓などに結露することがあります。結露を防ぐには換気を十分に行うことが効果的です。結露が生じた場合は、乾いた布で拭きとってください。床のシミや腐食の原因になります。

長期間使用しない場合

- 旅行等で長い間使用しないときは、万一の故障や水漏れをふせぐために以下の操作を行ってください。

■ 止水栓を閉じる

- 止水栓をマイナスドライバーやコインで右方向に回して閉じ、ロータンクへの給水を止めます。
※止水栓は施工時に給水量を調整しています。再使用時に元の位置に戻してください。閉じる時に回した角度を確認しておき、開けるときに同じ角度で戻してください。
- 水道配管に水抜き栓が設置されている場合は水抜き栓の操作も併せて行ってください。

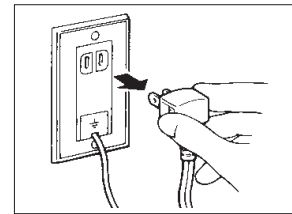


■ タンク、便器鉢内の水を抜く

- 凍結の恐れがある場合、洗浄ハンドルを操作してタンク内の水を抜いてください。
※タンク内の水がなくなるまで洗浄ハンドルを回した状態で保持してください。
- 凍結の恐れがある場合、便器鉢内の水を汲み出してください。

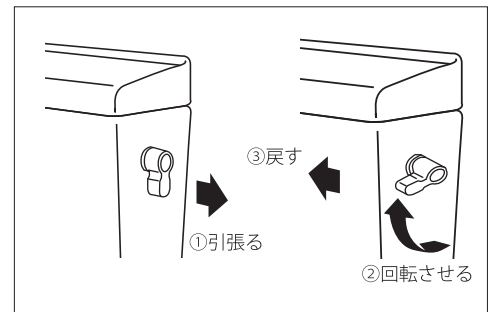
■ 電源プラグを抜く

- コンセントから電源プラグを抜きます。
※電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部を持って抜いてください。



凍結防止について

- 標準式便器の場合は、室内を暖房してロータンク内や便器内の溜水を凍結させないようにしてください。
※水抜き式タンクとヒーター付き便器を併用する場合、室内暖房の必要はありません。
- 水抜き式タンクの場合の洗浄ハンドル操作方法
※操作する前に、水抜き栓で給水を止めてください。
 - ①ハンドルを横に引張ります。
 - ②ハンドルを手前に約90度回転させます。
 - ③内側に戻し、ロックされていることを確認します。



- ヒーター付き便器をご使用の場合は、ヒーターの電源プラグをコンセントに差し込んでください。
※凍結の恐れのないときは、電源コードを抜いてください。
- 止水栓を閉じ、タンク内の水を抜いてください。
- 水道配管に水抜き栓が設置されている場合は、水抜き栓の操作を行いタンク内の水を抜いてください。
- 温水洗浄便座の温水温度を高めに設定してください。

■ トイレ内の使用限界温度について

凍結防止をしても、下記条件からはずれると凍結する恐れがありますのでご注意ください。

- ヒーター水抜き併用式便器の場合 …… -15℃以上
- 上記以外の便器 …………… 0℃以上
※環境条件により使用限界温度が変わることがあります。
※温水洗浄便座をご使用の場合は0℃以上です。

調整方法

●器具は、出荷時および施工時に調整してありますが、不具合があったり何かの都合で動かした場合、機能を十分に発揮できるように、調整をしてください。

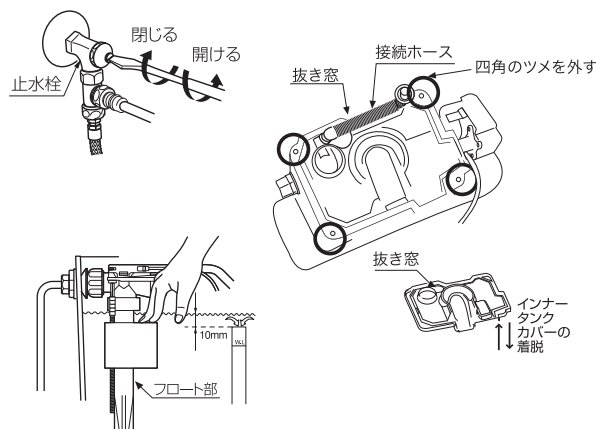
※便器性能を確保するため配管の環境に応じて設置時に洗浄水量の調整を行ってください。

● [給水量の調整] → [止水位置の調整] の順番で同時に行ってください。

■ [給水量の調整]

●万一、ボールタップの故障で水が止まらない場合でも、タンクから水が溢れないようにするために、必ず給水量を調整してください。

- (1) 止水栓を閉じ、インナータンクカバーを外します。
※インナータンクカバーの四角のツメを順番に外していきます。
- (2) 手洗付き便器の場合は、手洗吐水管への接続ホースをタンク内に向けて入れ、水が飛び出さないようにしてください。
- (3) フロートを押し下げながら、止水栓を徐々に開きます。
- (4) この状態で、水面がオーバーフロー管の上端より10mm以上上昇しない程度に、止水栓の開きを調整します。



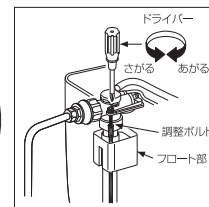
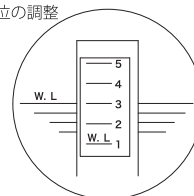
■ [止水位置の調整]

●給水量を調整した後、タンクに給水し、止水位置がオーバーフロー管に表示されているW.Lに合うように、フロートを上下させて調整してください。

※壁排水の場合は3以上に調整してください。

	陶器タンク
工場出荷時	表示ライン2
調整範囲	表示ライン2～5

水位の調整



■ [フロートの移動方法]

調整ボルトを右に回すと水位が上がり、左に回すと水位が下がります。

修理を依頼される前に

現象	原因	処置
便器が詰まった	便器に紙や汚物が詰まった。	ラバーカップを使用し、詰まりを取り除きます。 (1) 便器排水口をふさぐようにしてラバーカップを静かに押しつけます。 (2) 勢いよく手前に引いたり、排水口に向けて押し付けたり、数回繰り返します。 このとき、透明ビニールシートなどでカバーしておくことで汚水の飛び散りを防ぐことができます。
ロータンクへの給水時間が長い	止水栓が十分開いていますか。 ストレーナーが目詰まりしていませんか。	止水栓をマイナスドライバー等で左に回して全開にし、1/4回転程度戻します。 ストレーナーの掃除をします。(3ページ参照)
水の流れが悪いまたは、汚物がよく残る	止水栓が十分開いていますか。 ストレーナーが目詰まりしていませんか。 トイレトペーパーを多めに流していませんか。	止水栓をマイナスドライバー等で左に回して全開にし、1/4回転程度戻します。 ストレーナーの掃除をします。(3ページ参照) 女性の小用で紙をたくさん使用した場合、小洗浄で使用されますと紙が流れない場合がありますので、大洗浄の方でご使用ください。(3ページ参照) 1度に流すトイレトペーパーの量は、大洗浄では5m程度を目安にしてください。
便器内に水が流れ続ける(水が止まらない)	補給水ではありませんか。	洗浄してから5分以内に水が止まるようでしたら、故障ではありません。 便器の溜水を確保するための補給水です。
洗浄時に、洗浄した水がはねる	便器は勢いよく水を流し、汚物を排出する必要があります。そのため水と水がぶつかり水がはねる場合があります。	
用便時に水がはね返る(おつり)	便器に水たまりがあることが原因ですが、下水からの臭気を遮断したり、汚物の付着を防ぐための大切な役割があるため構造上避けられない現象です。	あらかじめ、トイレトペーパーを浮かせてご使用いただければ軽減できます。
子供の便が付着して落ちない	幼児や児童等の身長が低い方がご使用になると、着座位置が浅くなり、水面の外側に便が落ちて付着するため、便器洗浄しても落ちない場合があります。	
手洗い水が少ない	止水栓が十分開いていますか。 ストレーナーが目詰まりしていませんか。	止水栓をマイナスドライバー等で左に回して全開にし、1/4回転程度戻します。 ストレーナーの掃除をします。(3ページ参照)
バリウムが流れない	バリウムなど水に溶けにくく、重いものは1度の洗浄では流しきれない場合があります。	便器内に残ったバリウムおよび汚物をトイレブラシなどで細かくしたあと数回洗浄してください。

アフターサービス

タカラ製品のアフターサービスは、お買い上げの販売店へお申し付けください。
また、おわかりにならない時は、下記フリーダイヤルにご連絡ください。



0120-557-910 受付時間9:00～18:00(土日祝、夏季・年末年始休業日を除く)

※PHS・携帯電話・IP電話等で、一部通話ができない場合があります。

アフターサービスをお申し付けの際は、次のことをお知らせください。

- (1) 製品品番
- (2) 異常の状況
- (3) ご購入年月日
- (4) お名前・ご住所・お電話番号

【修理料金のしくみ】

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

※保証期間中は保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。
保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の内容をよくご確認ください。

■インターネットでの修理のご依頼、消耗品・小物のご注文も可能です。

タカラスタンダードお客様サポートサイト <http://www.takara-standard.co.jp/support/index.html>

〈修理のご依頼〉

修理のご依頼をインターネットより受け付けております。

修理受付後、弊社修理窓口よりお電話でご連絡させていただきます。

〈よくあるご質問〉

お客様よりお問い合わせいただくことの多い質問をまとめています。

修理やお問い合わせの前に参考にしてください。

〈消耗品・小物のご注文〉

主な消耗品・交換部品や小物はインターネットでもご購入できます。

※一部、取扱いのない商品もございます。フリーダイヤル(0120-557-910)までお問い合わせ願います。

※お客様の個人情報の取扱いについて

個人情報保護に関連する法令を遵守し、個人情報保護に関する基本方針を定め、関連会社を含めた全社に徹底を図っております。詳細はタカラスタンダードホームページをご覧ください。

【廃棄について】

この商品を廃棄する場合は、必ず公的な許可を受けている処理業者にご依頼ください。

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書ご提示の上、お買い求めの販売店または、P6に記載のフリーダイヤルに修理をご依頼ください。

品名:	保証期間	取付け・引渡し日より 2年:全般
品番:		取付け・引渡し日より 5年:防水機能
お客様 お名前	取付け・引渡し日	年 月 日
ご住所		販売店
電話番号		

※防水機能保証範囲例：便器や洗面器などの水受け容器のひび割れによる水漏れ等の場合に適応されます。

無料修理規定(保証規定)

- 「取扱説明書」「製品貼付ラベル」などの注意書にしたがった正常な使用状態で故障した場合、表記の期間無料修理いたします。
- 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの販売店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
- ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の販売店に修理をご依頼できない場合は、P6に記載のフリーダイヤルにご相談ください。
- 保証期間内でも、次の場合には有料修理とさせていただきます。
 - 一般家庭以外（例えば車両、船舶への搭載、業務用など）に使用された場合の故障および損傷
 - 使用上の不注意、過失による不具合および不当な修理や改造による故障および損傷
 - 適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合
(例) 水あか固着、給水管、排水管の詰まり
 - 温泉水、井戸水などにあつて水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を供給したことに起因する不具合
 - 第三者によるメンテナンス上などの不備（修理、分解、改造、移動など）に起因する不具合
 - 指定業者や設置説明書に基づかない設置や当社による設置工事以外に起因する不具合、および当社設置後、入居までの間の管理不備による不具合
 - お取付後の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
 - 建築躯体の変形など対象商品以外の不具合に起因する故障及び損傷
 - 塗装の色あせ等の経年劣化または使用に伴う摩耗、コーキングの切れ、さび、カビ、変質、変色その他類似の事由による場合
 - 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性空気循環および公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス）に起因する故障や損傷
 - ねずみ、犬、ねこなどの動物や昆虫などに起因する不具合
 - 火災、爆発事故、落雷、地震、洪水、津波等天変地異または戦争、暴動等破壊行為による不具合
 - 消耗部品（パッキン、電池、電球など）の消耗に起因する不具合
 - 砂やゴミなどの異物流入による不具合
 - 自然現象や住環境に起因する凍結、結露、音鳴り等の現象およびそれらに起因する損傷
 - 異常電圧、指定外の使用条件（電源、電圧、周波数、水圧など）による故障および破損
 - 傷など外観の不具合で、引き渡し時に申し出がなかったもの
 - 保証書の提示がない場合、保証書にお客様名、販売店名、お引渡し日の記入のない場合（領収書などで前記内容がわかる場合はこの限りではありません）、あるいは字句を書換えられた場合
 - 保証期間経過後に申し出があったもの、または保証該当事項の発生後、すみやかに申し出がなかったもの
 - 離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費
- 本書の取付け・引渡し日、販売店、お客様の欄に記載のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合は無効となります。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

※本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な点がある場合は、お買い求めの販売店または、P6に記載のフリーダイヤルにお問い合わせください。

※本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

タカラスタンダード株式会社

本社 〒536-8536 大阪市城東区鳴野東1丁目2番1号